

モニタや紙を通して得られる情報と違い、実際の日・耳・手等の感覚を通して得られるリアルな情報に触れることで知的好奇心を刺激し、新しい視点に光を当てます。
決まったカリキュラムを組んでおりません。行っている例としてご参考にしてください。

更地から家ができるまでの過程を実際に見る、感じるができます

毎日住んでいる「住まい」がどのように作られているか知ることができます。

結構みなさん知らないようで、子供はもちろん親御さんにとっても新鮮らしいです。

ショベルカーなどの重機にふれる事ができます

一番身近な「戦隊モノ（〇〇レンジャー）のロボットを操縦する」体験（多分）。

子供も大人も一番盛り上がります。スマホ撮影する方がほとんどです。

足場に登りいつもより少し高い場所から周囲を見ることが出来ます

安全には最大限配慮しますが、こちらは完全自己責任で提供しています。

一定数高いところが好きな人がいます。以外にも女の子とお母様が好きな様子です。

最新（よりは多分少し型落ち）の大工道具を見る、触れることができます

ノコギリ、釘&カナヅチなど、現在は機械化されています。最新の道具で作っている場面を見ることで現代の技術による作業の効率化に触れることができます。

男の子はすごく楽しそうに見ています。

プレカット材を用いて組み立てているところを見ることが出来ます

コンピュータ制御によって工場ですべて加工された部材を現場で組み立てるため、住まいのカタチになるのに1~2日（上棟という工程です）でできることを知ることができます。

学校に行く前の朝に現場を見て、学校が終わって夕方現に場を見ると、骨組みですが住まいのカタチになっていて、子供たちはすごくびっくりしています。

寒冷地である岩手県で住まいに使われる断熱材に見て触れることができます

「住まい」が冬でもなぜ外より温かくいられるか知ることができます。

袋入りのグラスウールに触れていただき、ダウンジャケットの例などを出して断熱・気密の説明などをします。子供も面白そうに話を聞いたり触れたりしますが、未だ家を建てていない親御さんの関心がすごく高いコンテンツではあります。

着工から完成まで3ヶ月前後、大体5回くらい行うことが多いです。

好きな親子は10回くらい来る親子も。（そのように熱心な親子は個別対応しています。）

アルトホームとしては、楽しんで、何かを感じ取ってもらえたら幸いです。